

I 平成 27 年度事業報告

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

1 学術研究助成事業

- (1) 平成 27 年度においては、引き続き、国民食生活の向上と外食産業の発展に寄与することを目的として、食に関する基礎的な科学研究を行う研究者及び研究グループに対し研究助成金を支給しました。

まず、「平成 27 年度学術研究助成募集要領」(事業報告付属明細書 1)により、助成研究課題を募集いたしました。

募集方法としては、当財団のホームページに掲載し公募したほか、公益社団法人日本農芸化学会、公益社団法人日本食品科学工学会、一般社団法人日本調理科学会の協力を得て、学会誌、ホームページ等を通じて公募いたしました。

- (2) 平成 27 年度の学術研究助成応募申請書は平成 27 年 6 月 10 日をもって受付を締め切りました。その結果は、下記のとおり 60 件(前年度 46 件)の応募があり、また学術研究助成金の申請総額は 11,604 万円に達しました。

平成 27 年度学術研究助成金応募件数一覧

研究機関名	応募件数	助成申請額
	件	万円
国公立大学・院	34	6,849
私立大学	15	2,681
短大	2	354
研究機関等	9	1,720
合計	60	11,604

- (3) 受理した 60 件の応募申請書について、専門委員による選考委員会に付託し、平成 27 年 8 月 7 日の審査会の選考の結果、12 件(助成額 2,100 万円)が選定されました。それを踏まえて、8 月 12 日理事長が助成対象課題(付属明細書 2)を決定し、該当助成対象機関の長あて決定通知をいたしました。

また、助成金（目録）について、9月2日に贈呈式を行い、助成対象者から研究概要の説明があり、それを基に相互の情報交換を行いました。

2 助成学術研究成果の発表(普及)

(1) 平成27年度助成学術研究成果発表会の開催

平成26年度の助成学術研究成果については、「第27回学術助成金による研究成果発表会」を平成27年11月12日に開催し、それぞれのテーマについて、研究代表者(13名)から発表いたしました。(付属明細書3)。

当日は、大学等研究機関、企業・団体等から多数の参加があり、活発な質疑・意見交換が展開されました。

(2) 研究成果の配布

また上記の研究成果については、「食に関する助成研究調査報告書第28号」として刊行し、国立国会図書館をはじめ、大学図書館、研究機関、企業、団体等に広く配布しました。